

★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

176号

2016年1月22日



常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960-3869

○ 中央図書館はどうなるのか

1月18日(月)18時半から地域センターで、第6回説明会が開かれました。出席者は約50名でした。

常盤台公園の跡地利用については、地域センターと区民事務所を持ってくる、地域図書館の機能を残すことについては考慮する、といった程度の見解しか示されませんでした。

肝腎の平和公園での中央図書館建設は、反対の意見が圧倒的で、今回も平行線状態。このままだと区民の意思を無視して区は計画を実行しそうです。3月までに報告を出して、4月からは設計をと言いつけています。住民側は署名をつけて陳情を出しており、このニュースでは間に合わないでしょうが、21日には文教委員会で集中的に取り上げられるようです。

現在の敷地は1409㎡、延床面積2907㎡、新中央図書館に必要とされる延床面積5000㎡は不可能です。平和公園は18000㎡あり、公園法に基づけばその1割に建築が許されるので、1800㎡に地上2階地下1階で5400㎡が充分建てられる、と区では説明、敷地を1500㎡にせよめでも地上3階までは大丈夫で、図書館11館の配置上からも平和公園が適地との説明でした。

しかし、寝耳に水の地元の人々にとっては30年前の約束に違反し、広さと自然環境を少しでも破壊されたくないという思いが強く、今の条件で納得できないのは理解できます。そもそも懸念されていたことなのに、地元に対する意見調査もせずに勝手に決めてしまうという非民主的なやり方が区民の怒りを買うのです。

この反対意見は無視して強行するのか、という問いに対して、区側は平和公園以外に適地はないとの見解を繰り返すだけでした。

○ 南宇都宮駅(東武宇都宮線)の「まちなみ景観賞」

東武鉄道宇都宮駅長さんから、南宇都宮駅の景観賞記念の缶バッジを頂きました。候補にも上っていなかった駅舎が賞を受けたのには、常盤台の皆さんが8月にわざわざ見に来てくれたことも一因と書かれてありました。宇都宮市は記念講演を以下のように行うそうです。

2016年1月27日(水)13時30分～

宇都宮市総合福祉センター 10階 大会議室

・「第17回宇都宮市まちなみ景観賞受賞作品について(講評)」

宇都宮市まちなみ景観賞選考委員会会長
宇都宮大学工学部准教授 安森 亮雄氏

・「まちなみ景観まち歩きについて」

作新学院大学・同女子短大顧問 赤羽薫氏

・「石の街うつつのみや」

宇都宮美術館主任学芸員 橋本優子氏

○ 「日本と原発 4年後」の上映

河合弘之弁護士が製作した映画「日本と原発 4年後」が多くの支持を得て各地で上映されています。賛成派も反対派もなく、「原発後」を多くの皆さんと一緒に考えるいい機会になるのではとのことです。

・ 3月11日(金)18時50分～

板橋区立文化会館大ホール

(「日本と原発 4年後」上映会 in 板橋区主催)
1000円学生無料

・ 4月2日(土)10時～(河合氏の講演付き)

13時15分～ の2回

粕江市西河原公民館学習室1 500円学生無料

(「日本と原発一上映委員会」主催)

連絡先 03-3430-2374 種山

従軍慰安婦問題は解決したか

昨年末、この問題で日韓は合意に達したと報道されました。「最終かつ不可逆的」と。

なんともおぞましい事件で、我々日本人にとって一刻も早く忘れ去りたい記憶であるのは確かです。この問題がなかなか解決しない根深い原因は、日本に女性を性的対象としか見ないような伝統があったからではないでしょうか。

考えれば日本は鎌倉時代から江戸時代まで、ずっと軍事政権だったわけで、ミヤンマーや北朝鮮を見ても判るように、軍事国家では人権という概念さえなく、そのような社会で女性がどう扱われたか、容易に想像できます。それは現代まで尾を引きずっているではありませんか。

韓国人はこういう政治的決着では当然納得しないでしょう。真の解決はやはり被害者への本当の謝罪がなければならぬと思います。またこういう場で日本の女性の声が弱すぎると思います。おなじ女性への性的暴行を、たとえ戦時中であっても許してはならないでしょう。戦時下の犯罪が糾弾されつつあるのが先進国であり、戦時下の性暴力も今では法廷で裁かれています。

日本でも慰安婦問題を研究してきた良識ある人々が男女共にいますが、今回の「合意」についてコメントが聞けないのはなぜか、不可解です。

この問題があるために隣国同士がいつまでも良い交流ができないというのはお互いにとつて不幸なことです。文化的経済的交流は極東の平和のためにも必要ですが、根本的解決は日本国内の人権に対する認識の成熟を待たねばなりません。あの安倍首相も少しは勉強したのか軍の関与を認めるようになりましたが。

S

常盤台駅舎は保存されるのか

東上線の中で、わが常盤台の駅舎ほどデザインとしても歴史上も、貴重なものはないと思います。駅舎は鉄道会社にとっては消耗品、かもしれないませんが、利用者にとっては心に染み付く景観のひとつなのです。

国立の三角屋根の駅舎も国からの交付金と一般からの寄付六千万とで一億八千万をかけて復原されるそうです。

監視社会の不安

「まちづくりニュース」一七五号での監視カメラの導入についての意見に対し、Iさんから、警察だけが見るので心配はありませんとのご意見をいただきました。

確かに以前ではわからなかった犯人が、防犯カメラのおかげで判明したケースは多いでしょう。善良な市民の多くは監視カメラの設置に賛成し、反対の人も、ある程度の必要性は認めるでしょう。

しかし、人類の歴史を知れば、いったん為政者の手にあらゆる情報が握られた時、どんな恐ろしい事態が起きるか、ナチスの例や現在の北朝鮮の例を見るまでもないことです。

電話の盗聴、町中に張り巡らされる監視カメラ、金で買われる密告、権力者には垂涎のシステムでしょう。国民すべてに振る番号での情報収集も同じような発想なのではないでしょうか。一抹のいやな不安がつきまとうというのは、何人もの人から聞いた正直な気持ちです。

常盤台公園のはなづくり

公園は冬景色です。ケヤキもサクラもすっかり葉を落としました。枝をとおして冬の日差しがベンチの人たちにぬくもりを届けています。

先日植えた苗の中で、ストックがどうも元気がなかったと思ったら、幾株か枯れてしまいました。ほかの株も生気がなく、Tさんは肥料のやりすぎと言いますが、元々の苗が良くなかったように思われます。去年の夏の暑さの影響などもあったのでしょうか。

チューリップの球根が植わっている場所に、淋しいのでパンジーを植え、追加で派手なピンクのオキザリスを植えてみました。いまのところ良く咲いています。チューリップが出てきたらどかさなければなりません。

先日、パンジーの花ガラを摘んでいたら、一人の女性が「公共の花ですよ!」と言ってにらみつけるので、「花の手入れをしているのです」と説明するとやっと納得して笑顔で挨拶して行きました。やれやれ!

水仙が早くも咲き、クリスマスローズもつぼみを付けています。温暖化現象なのでしょうか、梅が一月下旬ではなく中旬に既に満開になっているとか。寒さはまだ厳しいのですが、春は近くに来ているようです。